

会 議 経 過 報 告

名 称 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会
日 時 平成 24 年 3 月 22 日（木）午後 2 時～午後 2 時 55 分
場 所 厚木商工会議所 3 階中会議室 303 号室
出席者 【構成員】 10 人
厚木市 6 人
愛川町 3 人
清川村 1 人（2 人欠席）
【組合】 4 人
事務局職員 4 人

【会議概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ 事業懇話会会長
- 3 案 件

（1）最終処分場に係る生活環境影響調査について【資料 1】

○事務局から資料 1 により説明

【質疑等】

委 員）生活環境影響調査概要版 3 ページ中、2. 手続の概要における、「住民説明会と公告縦覧」におきまして、愛川町半原の県警グラウンド跡周辺における住民に説明を行っていただいたということですか。

事務局）平成 23 年 11 月 21 日に、調査の結果につきまして、地元対策委員会であります清川村の「あすなろ会」様にご説明に上がらせていただいているものであります。

委 員）生活環境影響調査概要版 11 ページの表中、搬入車両数の最大の時期として平成 32 年度としてありますが、最大車両数はどのくらい見込んでありますか。

事務局）組合では基本計画を事前に策定しておりますが、生活環境影響調査の予測値や計画値については、この計画に基づいて調査を行っております。

基本計画によりますと、平成 32 年度から 37 年度までにおけるピーク時の台数を掲示しておりまして、一日当たりの搬入台数は、10 トン車で 4 台程度、4 トン車で 8 台程度としております。

委 員）どのくらいの大きさの車なのですか。

事務局）市町村における一般のゴミ収集車が 4 トン車であります。

事務局）平成 32 年度というのが現在のごみ中間処理施設の稼働目標年度であり、したがって、そこからピークを迎えることとなります。組合におけるごみ量推計におきまして

は、厚木愛甲のごみ排出量は平成 32 年度にピークを迎えるという想定をしております。そこで算出をした結果、10 トン車が 4 台程度必要ではないかと考えております。ただ、これにつきましては構成市町村が、減量化・資源化を進めれば当然施設の規模も小さくなりますし、運ぶ量も少なくなるということになります。よって、現段階での計画における最大値ということで御理解をいただきたいと思っております。

委員)生活環境影響調査概要版 4 ページ中、3. 施設の概要における、「最終処分場の種類、形式」であります。クローズドシステム型というのは防水シートか何かを使用して、地下浸透しないようにするものですか。

事務局) こちらのシステムにつきましてご説明いたします。

最終処分場は、オープン型ですと、雨水の流れを考慮しまして、遮水シートを敷きます。当施設はドーム型により覆われており、水の循環につきましてはドームの中で循環をするものであり、一般の最終処分場とは形態が異なるものであります。したがって、浸出水につきましても施設の外に出ることはないシステムであります。

委員) 説明の中で、運搬は全て半原ルートという話であります。清川村方面から上がってくることはないという考え方でよろしいですか。

事務局) 宮ヶ瀬ルート（半原からのルート）を選択したことにつきましては、清川村さんで最終処分場をこの地に受入することに係る条件の一つでありましたのでこのようなルートにさせていただいております。

委員) 計画地につきまして、位置の詳細と、民家からどの位離れているのか説明願いたい。

事務局) 清川村役場前の県道を宮ヶ瀬方面に上っていきますと川沿いには民家がございまして、

そこを通過し、左側の現在閉鎖になっております唐沢林道手前から進入路を設けまして、奥に入ったところであります。

委員) 当該最終処分場が満ちた場合、次の最終処分場はどこになるのですか。

事務局) ごみの共同処理を実施する中で、ごみ中間処理施設は厚木市、最終処分場につきましては清川村さんが最初に受け持つこととし、次期最終処分場は愛川町ということで、厚木愛甲環境施設組合が平成 16 年度に設立された前年の 11 月に、合意書により取決めをしております。

委員) 中間処理施設については、現在の金田地区に造るのですか。

事務局) 建設工事につきましては、厚木市が候補地を一箇所に絞り込みをいたしました。そして、地元住民のみなさんの合意が得られるよう調整を進めている状況であります。厚木市から厚木愛甲環境施設組合に対しまして、その建設候補地の報告は、まだいただけていない状況であります。

流れといたしましては、厚木市が地元の基本合意を得られまして、厚木市長から組合管理者に報告をいただきます。その報告をいただきましたら、組合といたしましては正副管理者会議（厚木市長、愛川町長、清川村長、厚木市副市長）を召集させてい

ただいて、建設地としての決定をして行くという流れになっております。

委員)生活環境影響調査概要版 11 ページの部分で、搬入車両台数が最大の時期は平成 32 年度とありますが、この時点の一市一町一村の人口想定を教えてください。

事務局)ごみ焼却施設稼働目標年度の平成 32 年度におけます、厚木愛甲ブロックの人口推定につきましては、27 万 3,223 人を想定しております。

委員)現況は何人ぐらいですか。

事務局)現況につきましては、27 万 2,000 人程度でございますので、1,000 人くらい増えるということであります。

これは、あくまで計画を作る中で、構成市町村は総合計画を策定いたしまして、総合計画における人口数値にあわせ、諸計画を策定していきますので若干多めの人数かと考えております。

(2)平成 23 年度組合事業の執行状況について

○事務局から資料 2 により説明

【質疑等特になし】

4 その他

5 閉 会 事業懇話会副会長